



一般社団法人 巨樹の会

宇都宮リハビリテーション病院

みやり、通信

2025 Spring

Vol. 54

Contents

- 入職式
- 新入職者あいさつ
- 第2回院内FIM勉強会
- BLS研修会
- 病棟イベント『ひな祭り』
- 第22回関東カマチグループ学術大会
- 呼吸療法認定士による勉強会
- 行事食





入 職 式



令和7年4月1日“令和7年度入職式”を執り行いました。

今年度は、看護部1名(看護補助者1名)、リハビリテーション科12名(理学療法士7名、作業療法士4名、言語聴覚士1名)の計13名の新入職者を迎えました。

入職式では、院長より激励の言葉が贈られ、新入職員一同、うなずきながら真剣に耳を傾ける姿が印象的でした。新たな一步を踏み出すにあたり、気持ちを引き締める場となりました。

また、新入職員代表の挨拶では、新社会人としての熱意と意欲が力強く語られ、式にさらなる活気が加わりました。

今年度も宇都宮リハビリテーション病院をどうぞよろしくお願いいたします。





新入職者からのご挨拶



リハビリテーション科 言語聴覚士 藤田

患者様一人一人に向き合い、
患者様が前向きな気持ちで退院できるよ
うな臨床ができる言語聴覚士になりたいです。
そのためにも日々努力を怠らず、真摯にそして
積極的に学んでいきたいと思ひます。
よろしくお願ひします。

リハビリテーション科 作業療法士 小林

患者様に寄り添ひ、リハビリ
の時間を楽しみにして頂けるような作業
療法士になれるよう日々努力していきたく
と思ひます。まだまだ未熟な部分が多くあると
思ひますが、精一杯頑張ります。
よろしくお願ひします。



患者様一人ひとりに寄り添ひ
より良いリハビリを提供できるよう努めて
まいります。学びを深め、成長しながら貢献して
まいりますので、どうぞよろしく
お願ひいたします。

リハビリテーション科 理学療法士 福田

私の目標は、1日でも早く
この仕事に慣れて、看護補助者として
一生懸命に頑張っていきたいです。
みなさん、声をかけてくれると嬉しいです。

看護部 看護補助者 川嶋

第2回院内FIM勉強会

令和7年2月6日、FIM委員会主催で院内勉強会を開催しました。

FIMとは、「Functional Independence Measure」の略語で、「機能的自立度評価法」といいます。食べる、歩く、トイレへ行く、お風呂に入るなどの日常生活動作の介助量を評価します。回復期リハビリテーション病棟では、入院から退院まで少なくとも1ヶ月毎にFIMを用いて日常生活動作の評価を行います。当院をはじめ多くの病院でリハビリテーションの進捗状況の説明にも使用されている指標になります。

FIM採点における基礎知識から応用編まで、正確なFIM採点ができるように今後も継続的な勉強会を実施していきたいと思います。



BLS研修会

令和7年3月3日、日本光電工業株式会社様にお越し頂きBLS(一次救命処置)の勉強会を開催いたしました。

AEDの使い方や胸部圧迫法についてなど、看護師だけでなくリハビリスタッフや、全職員が積極的に体験し学ぶことが出来ました。今後も、医療従事者として入院患者様はもちろん、地域の皆様の健康維持に貢献できるよう精進してまいります。



ひなまつり

桃の節句も過ぎ、少しずつ暖かい日も増えてきましたね。
桃の節句は正確には「上巳(じょうし、じょうみ)の節句」というそうです。
宇都宮リハビリテーション病院では3月3日にひな祭りイベントを開催しました。
患者様に塗り絵・切り絵をして頂きデイルームに展示させていただきました。



第22回関東カマチグループ学術大会

令和7年2月22日第22回関東カマチグループ学術大会が開催されました。

18施設が参加し22演題の発表がありました。当院からは、地域医療連携室より「身寄りに問題を抱える患者支援 ～職員の意識調査と今後の課題～」というテーマで研究発表し、銀賞を頂くことができました。他病院の研究発表や取り組みを聞き、とても良い刺激を受ける機会となりました。



呼吸療法認定士による勉強会



リハビリテーション科には「呼吸療法認定士」が2名在籍しています！

3月4日・3月25日呼吸療法認定士による勉強会を開催しました。気管切開患者に対するリハビリテーションにおける具体的な評価や治療アプローチを学びました。呼吸リハビリテーションの目的や流れを理解する事で理学療法士や作業療法士、言語聴覚士の連携が気管切開の離脱に繋がっていると再認識することが出来ました。今回の勉強会を通して日々のリハビリに反映させ、よりよい治療を提供できるように取り組んでいきたいと考えています。



呼吸療法認定士とは・・・正式名称は「3学会合同呼吸療法認定士」といい、日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会の3学会が合同で資格制度を創設しました。呼吸器疾患の患者に対して専門的なケアやリハビリテーションを提供するための認定資格です。

行事食



メニュー

- 五目ちらし寿司
- 鶏団子の煮物
- 若竹汁
- 抹茶ババロア

栄養科からのコメント

3月3日昼食に『ひなまつり御膳』を提供しました。

五目ちらし寿司は桜でんぶを最後に盛り付けることにより、ピンク色が生えて彩り良い見た目になるよう心がけました。鶏団子の煮物は菜の花や花形人参を使用し春らしく、抹茶ババロアは菱餅をイメージした色合いにし、見た目も可愛くひな祭りらしい献立に仕上がりました。

今後も皆さんに楽しみにしていただける行事食を提供していきたいと思えます。



患者様からの声

- ・色合いが華やかで、季節を感じることができ嬉しかった。
- ・海老がたくさんのもっていてよい。
- ・抹茶ババロアが程よい甘さで美味しかった。



むすびプロジェクト



「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。今回はその取り組みのひとつをご紹介します。

第3回 むすびプロジェクト研修会 「その人らしさを支えるチームアプローチ」開催

令和6年8月2日、第3回むすびプロジェクト研修会が開催されました。カマチグループリハビリテーション関東統括本部長である稲川利光先生と、小金井リハビリテーション病院の作業療法士である村上直也さんが講師を務め、リハビリテーション科631名、看護師130名、事務部75名、連携室44名、ケアワーカー29名、薬剤科18名、栄養科16名、総数943名のグループ病院職員が参加し、チームアプローチに関する知識を深めました。



▲たくさんの方にご参加いただきました。



▲稲川利光先生と村上直也さん

今回は入職1~3年目の職員を対象に開催しました。退院後に患者様が自分らしく生活できることを見据え、多職種が連携し専門性を活かした支援を提供する必要があると学びました。研修会で得た知識を活かし、退院支援の質の向上に取り組んでまいります。



宇都宮リハビリテーション病院 交通のご案内

電車でのご来院

- JR宇都宮駅から車で約15分
- JR岡本駅から車で約5分

バスでのご来院

- 関東バス
JR宇都宮駅東口 岡本駅西口行に乗り 宇都宮リハビリテーション病院前で下車(0分)
JR岡本駅西口 宇都宮駅東口行に乗り 宇都宮リハビリテーション病院前で下車(0分)

宇都宮リハビリテーション病院 広報誌



2025 Spring Vol. 54 (令和7年4月発行)

企画発行



宇都宮リハビリテーション病院

日本医療機能評価機構認定病院



〒321-0982 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43-2
TEL:028-662-6789(代表) FAX:028-660-1041
(広報委員会)